

## 多様な強み・キャリア観が尊重され、 誰もが前向きにキャリア形成できる組織へ

渡部純子  
プロダクトマネジメント統括室  
クオリティコーディネート室長

### クオリティコーディネート室について教えてください

クオリティコーディネート室は、リクルートのプロダクトの品質を上げていくための組織。新設されてまだ2年ほどの若い組織です。法務などの専門家とビジネスサイドの間の通訳者として、プロダクトの品質担保と価値最大化を行う調整を行っています。

各事業領域への知見や、“フラグ”が立つためのリスク関連知見を幅広く持っている必要があり、必然的に30代後半～40代前半のプロフェッショナルメンバーが多い組織構成。キャリア観も「プライベートの活動に軸足を置いている人」「現場でプロダクトに携わることが好きな人」「人の役に立つ事がモチベーション」など、多様な価値観のメンバーが集っています。

### どのように組織内で進めているのですか

各領域・組織から人が集まって誕生した組織なので、メンバーそれぞれが多様なバックグラウンドを持つことが私たちの特徴。まずは一人ひとりの得意なことやキャリア観を理解・尊重し、多様性が活きるような最適なアサインを重視します。

また、同じ事象でも人によって考えや行動が異なるからこそ、あえて異なる個性の人同士で意見をぶつけるための場の設定など“三者三様”の意見を仕事に取り入れることも実践。率直な相互フィードバックを実現するためにも、どんなに自分と意見が異なってもまずは受け止める組織風土を大事にし、心理的安全性の担保に努めています。

### 自組織の組織長・メンバーに期待することを教えてください

DEIを実現するための第一歩として、「組織長」という区分に捉われない体制づくりをしています。グループとして動くことでバリューを発揮できる場合には組織化もしていますが、原則として、室直下にメンバーが直接所属する形をとっています。キャリアのステップとして、組織長への任用といったテーマだけに捉われず、それぞれが自分自身の強みを発揮できる仕事で、社内外から認められる状態を切り拓いて欲しいです。特にクオリティコーディネート室の仕事はさまざまな知識が求められ、関わる人も多いのですが、世の中に同じポジションの仕事が少なく、一言で説明するのが難しい仕事です。だからこそ、私たち自身のポジションやバリューを可視化・言語化していきたい。プロフェッショナルとして働く一人ひとりが自らの価値を自覚でき、それが正しく社内外から評価されるような姿を皆さんで目指していきたいです。ひいては、それが属性に関わらず誰もがポジティブにキャリアを形成できる組織へと進化することにつながると期待しています。